

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【744】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 基盤整備促進事業				
予算区分	款	06	農林水産業費	所属	農林水産課
	項	01	農林水産業費		
	目	04	農地総務費	連絡先	0594-24-1205
	細目	011	基盤整備促進事業		

事業の概要		(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)	
対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	整備を計画している用排水路・農道等の農業用施設 農業従事者	公民連携の前進	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	国県補助事業(団体営事業)として、用排水路・農道整備等の土地改良事業を実施 水路工 L=1,200m	理由	農業生産基盤整備事業であることから変更の可能性はない。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	農地の集積、汎用化、省力化を進め高生産性農業が可能となる土地基盤を整備する。		

事業活動と成果		(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)					
区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	計画延長	m	2,810	3,100	1,200	1,400	
	整備延長	m	2,810	3,100	1,200	1,400	
成果指標	整備進捗率	%	目標値 100.0 実績値 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0	100	
			目標値 実績値				
投入コスト	事業費計			60,671	50,346	35,414	0
	財源内訳	国支出金	千円	30,300	33,673	16,523	0
		県支出金					0
		地方債		25,100	12,200	12,300	0
		その他					0
		一般財源		5,271	4,473	6,591	0
	所要人員(正職員)	人工	0.54	0.52	0.32		
所要人員(嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	3,765	3,681	2,188			

進捗評価		(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)	
<p>成果は計画どおりにあがっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あがっている ○ 横ばい ○ あがっていない <p>H28年度の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 拡充 ○ 休止廃止 ● 現状維持 ○ 見直し ○ 縮小 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; min-height: 60px;"> 特になし </div>		

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2062】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目04 ため池等整備事業				
予算区分	款	06	農林水産業費	所属	農林水産課
	項	01	農林水産業費		
	目	04	農地総務費	連絡先	24-1205
	細目	009	県営事業負担金		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
ため池の洪水被害を受ける区域 (池ノ谷ため池地区、蛸塚大溜池地区)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
老朽化した農業用ため池を改修する。 (池ノ谷ため池地区) 平成27年度 残土処分、ガードレール設置、舗装復旧工 (蛸塚大溜池地区) 事業計画策定業務委託	
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
農業用ため池の決壊・漏水による洪水被害を未然に防止するため、堤体・付帯施設及び水路の改修を行う。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	計画地区数	地区	1	1	1	1	
活動指標	整備地区数	地区	1	1	1	1	
成果指標	整備推進率	%	目標値 100.0 実績値 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0	100	
			目標値 実績値				
投入コスト	事業費計			18,000	5,400	6,282	2,664
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金				5,366	1,317
		地方債		16,400	4,200	800	0
		その他					0
		一般財源		1,600	1,200	116	1,347
	所要人員 (正職員)	人工	0.20	0.07	0.15		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	1,395	496	1,026			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

詳細設計からは県の業務になるため、円滑な引継ぎが重要である。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【750】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 湛水防除事業				
予算区分	款	06	農林水産業費	所属	農林水産課
	項	01	農林水産業費		
	目	04	農地総務費	連絡先	0594-24-1205
	細目	009	県営事業負担金		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
湛水被害を受ける地域 整備地区 (大島)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
湛水被害から農作物、農業用施設及び一般家庭や公共・公益施設等を守る排水機場や排水路の新設・改修を行う。 ・平成27年度 下部躯体工	県営農業農村整備事業であることから変更の可能性はない。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
排水機場や排水路の新設・改修を行い、湛水被害から農作物、農業用施設及び一般家庭や公共・公益施設等を守る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	計画地区数	地区	2	2	1	1	
	整備地区数	地区	2	2	1	1	
成果指標	整備推進率	% 目標値	100.0	100.0	100.0	100	
		実績値	100.0	100.0	100.0		
投入コスト	事業費計			55,492	16,450	8,434	30,000
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債		34,709	15,300	7,500	27,000
		その他		19,342			0
		一般財源		1,441	1,150	934	3,000
	所要人員 (正職員)		人工	0.52	0.67	0.51	
	所要人員 (嘱託再任用)		人工	0.00	0.00	0.00	
人件費合計		千円	3,626	4,743	3,487		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

特になし

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1523】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 漁港整備事業(伊曾島)				
予算区分	款	06	農林水産業費	所属	農林水産課
	項	01	農林水産業費		
	目	03	農林水産業振興費	連絡先	0594-24-1202
	細目	006	漁港管理費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
伊曾島漁業協同組合員及び長島地区住民	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○老朽化している伊曾島漁港施設の改修、整備 (平成21年度～平成27年度 7ヶ年事業) ・H21年度 測量、調査、設計 ・H22年度 水門の自重降下装置の設置 ・H23年度 物揚場の改修 ・H24年度 物揚場の改修 ・H25年度 物揚場の改修 ・H26年度 物揚場の舗装整備 ・H27年度 防災安全施設(排水路・防災倉庫)の設計	施設整備は、市の事業
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
○漁港施設の改修及び災害対策工事を行うことにより、組合員が安心して出漁できる。 ○地域住民が安心安全な暮らしができる。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	伊曾島漁業協同組合員数	人	68	68	68	68	
	長島地区住民数	人	15,521	15,447	15,252	15,252	
活動指標	補助事業費執行額	千円	29,000	3,500	0	30,500	
成果指標	整備率	%	目標値 75.0 実績値 89.1	90.0 90.3	100.0 90.3	100.0	
			目標値 実績値				
投入コスト	事業費計			29,001	3,632	0	26,251
	財源内訳	国支出金	千円				
		県支出金		20,300	2,100	0	14,400
		地方債		7,800	1,200	0	8,600
		その他					
	一般財源	901	332	0	3,251		
	所要人員(正職員)	人工	0.55	0.65	0.25		
所要人員(嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	3,835	4,601	1,709			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充 ○ 休止廃止
- 現状維持 ○ 見直し
- 縮小

H28年度事業終了予定(排水路・防災倉庫整備)

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【755】

会計名称	一般会計			
事務事業名	細々目01 土地改良施設維持管理適正化事業			
予算区分	款	06 農林水産業費	所属	農林水産課
	項	01 農林水産業費		
	目	04 農地総務費	連絡先	0594-24-1205
	細目	013 土地改良施設維持管理適正化事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
土地改良施設 (排水機場及び用水機場)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
三土連の適正化事業に加入し、農業用施設の整備補修を行うため必要な資金を5年間積み立てて事業を実施する。(事業実施年度に国30%・県30%・地元30%を併せた90%が交付され、残り10%は地元負担 ・野代排水機場エンジン整備補修 ・城南排水機場φ1200mmポンプ整備補修 ・第2福豊φ450ポンプと第2松陰東φ500ポンプ2基の整備補修工事負担金と平成27年度賦課金	三重県土地改良事業団体連合会に設計から工事完了まで業務支援を委託している。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
土地改良施設の整備補修により機能低下を回復し、適正な維持管理を図る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	施設数	施設	26	26	26	26	
	年間施設整備件数	件	4	6	4	2	
成果指標	施設維持管理上の不具合件数	件	0	0	0	0	
		実績値	0	0	0		
投入コスト	事業費計		41,470	31,440	43,590	33,815	
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円	26,100	4,500	28,800	21,600
		一般財源	千円	15,370	26,940	14,790	12,215
	所要人員 (正職員)	人工	0.20	0.31	0.36		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	1,395	2,195	2,461			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

特になし

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【747】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 土地改良事業				
予算区分	款	06	農林水産業費	所属	農林水産課
	項	01	農林水産業費		
	目	04	農地総務費	連絡先	0594-24-1205
	細目	008	市単事業		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
整備を計画している用排水路・農道等の農業用施設 農業従事者	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
国県補助事業に該当しない地域において市単独事業として地元要望に基づき、用排水路・農道等の整備を実施する。 桑名地区…排水路修繕工事(上深谷地区) 多度地区…排水路修繕工事(戸津地区) 長島地区…農道舗装工事(中川地区)	土地改良事業であることから可能性は低い。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
農地の集積、汎用化、省力化を進め高生産性農業が可能となる土地基盤に整備し効率的、安定的な農業経営の確立を図る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	計画箇所数	箇所	16	10	8	6	
	活動指標	整備箇所数	箇所	16	10	8	6
成果指標	整備進捗率	%	目標値 100.0	100.0	100.0	100.0	
			実績値 100.0	100.0	100.0	100.0	
投入コスト	事業費計			34,152	22,245	21,568	15,000
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源			34,152	22,245	21,568
	所要人員 (正職員)	人工	0.58	0.58	0.75		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	4,044	4,106	5,128			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

特になし

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1990】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 農業基盤整備促進事業				
予算区分	款	06	農林水産業費	所属	農林水産課
	項	01	農林水産業費		
	目	04	農地総務費	連絡先	0594-24-1205
	細目	012	農業基盤整備促進事業		

事業の概要 (事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
整備を計画している用排水路・農道等の農業用施設 農業従事者	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
国補助事業として、排水路改修工事を実施する。 排水路工 L=5.5m	農業生産基盤整備事業であることから変更の可能性はない。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
農地の集積、汎用、省力化を進め高生産性農業が可能となる土地基盤を整備する。	

事業活動と成果 (上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初		
対象指標	計画延長	m	-	247.2	55.0	85.0		
	整備延長	m	-	247.2	55.0	85.0		
活動指標	整備進捗率	%	目標値 実績値	- 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0		
	目標値 実績値							
投入コスト	事業費計			0	6,828	2,218	3,650	
	財源内訳	国支出金	千円			3,240	1,000	1,800
		県支出金						0
		地方債				2,900	900	1,600
		その他						0
		一般財源				688	318	250
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.05	0.11			
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00				
人件費合計	千円			354	752			

進捗評価 (事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

特になし